SYNTEX

シンテックス株式会社

〒329−1412
栃木県さくら市喜連川１１１４
ＴＥＬ ０２８−６８６−６３５３
ＦＡＸ ０２８−６８６−６１２８

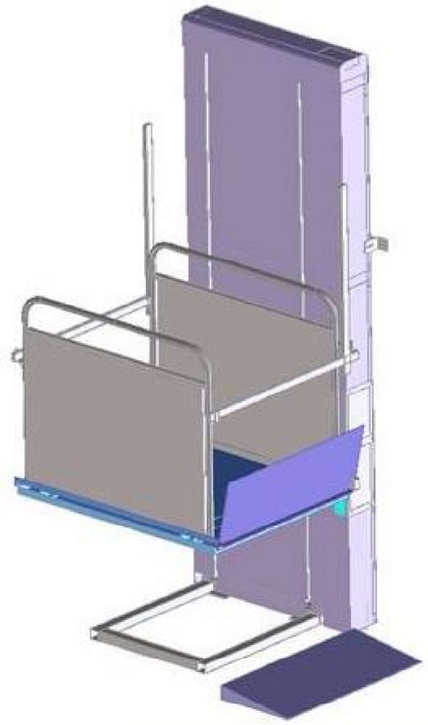
設　置　日	年	月	日
お問い合わせ先（お買い上げ販売店）			

段差解消機　TASCAL

タスカルりふと

DA-65Ad/100Ad/150Ad/240Ad

取扱説明書



●この取扱説明書をよく読んで正しくお使い下さい。
本機の操作を行うときは、取扱説明書に指示されている
安全に関する注意事項をすべて遵守して下さい。
必要なときいつでも参照できるよう大切に保管して下さい。

SYNTEX

シンテックス株式会社

SOM-00047-3

このたびは『タスカルりふと』をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
タスカルを正しくご活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、十分に理解して下さい。
正しく安全にお使いいただき、末永くご愛用いただきますようお願い致します。

もくじ

安全上のご注意　必ず守って下さい …… 1
各部のなまえとはたらき …… 7
使い方　操作の仕方 …… 9
呼び送りの仕方 …… 11
電源について …… 11
日常の点検とお手入れ …… 12
修理を依頼される前に …… 12
点検・修理の依頼 …… 12
ご使用期間について …… 13
廃棄 …… 13
仕様 …… 13

安全上のご注意　必ず守って下さい

製品をお使いになる方や他の人への危害と財産の損失を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書に指示されている安全に関する「警告」「注意」事項をすべて遵守して下さい。
この取扱説明書は必要なときいつでも参照できるよう大切に保管して下さい。取扱説明書を紛失したり、本機の注意シールが剥がれたり汚損した場合は、販売店へご連絡いただきますようお願い致します。

絵表示の意味

⚠ 警　告　誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠ 注　意　誤った取扱いをすると人が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があることを示します。ただし、使用方法によっては重大な事故に繋がることも想定されます。

図記号の意味

　してはいけない『禁止』表示です。

　必ず実行していただく『強制』表示です。

　注意（警告を含む）を促す『注意』表示です。

感電注意　感電への注意（警告を含む）を促す『感電注意』表示です。

※　図記号の中や近くに絵や文章で具体的な表示内容を指示します。

MEMO

ご使用期間について

本機は、標準的な使用環境と使用条件下で、取扱説明書にしたがって正しく使用した場合の標準使用期間（注１）を８年と定めています。この期間を超えて使用されますと、機能部品はもとより主要構造材も経年劣化により破損する恐れが出てきます。使用期間が８年を超えた製品については、弊社同等製品への買い替えをお勧め致しますが、引き続いての使用をご希望される場合は、必ず販売店にご連絡のうえオーバーホール（注２、注３）を受けてから使用して下さい。
詳細につきましては販売店までお問合せ下さい。

注１：標準使用期間とは、保証書に記載された無償修理の保障期間とは異なるものです。
注２：オーバーホールは、その後の無償修理の保障を約束するものではありません。
　　またオーバーホールは、標準使用期間が延びるものではありません。
注３：お客様の強いご希望で、標準使用期間終了後オーバーホールを受けずに本機を使用される場合は、本機を使用中に発生した、いかなる不具合ならびに事故に対して、弊社はその責を負いません。

廃棄

本機を廃棄するときは、産業廃棄物として扱って下さい。

仕様

仕様	定員（許容荷重）	1名 （DA-65Ad／100Ad ：200ｋｇ） （DA-150Ad／240Ad：185ｋｇ）
	使　用　環　境	屋外防滴仕様、温度0~40℃、湿度20~80%RH（但し、結露なきこと）
	電　　源	AC100V
	駆動電動機	モーター出力　200W
	昇　降　速　度	3m／ｍｉｎ
	最大ストローク	65ｃｍ／100ｃｍ／150ｃｍ／240ｃｍ
	最　低　高　さ	8ｃｍ
	操　作　方　法	押しボタンスイッチ（押し続け方式）

●改良のため、予告なしに一部仕様変更をする場合があります。
●本書中で使用しているイラストは現物と多少異なる場合があります。
●本書の一部、または全部を無断で複写することは禁止されています。
　また、個人としてのご使用以外は、著作権法上、弊社に無断ではご使用できませんのでご注意下さい。

必ず守って下さい

⚠ 警　告

禁　止
定員は１名！
・定員オーバーは転落事故の原因となり危険です。
・介助者は一緒に乗らないで下さい。

禁　止
ＤＡ-６５Ad／１００Ad　最大積載重量２００ｋｇ！
ＤＡ-１５０Ad／２４０Ad　最大積載重量１８５ｋｇ！
・重量オーバーは事故及び故障の原因になります。

禁　止
本機を車いすで昇降する以外の目的で使用しない！
・荷物の昇降用にはご使用しないで下さい。
・手に荷物をお持ちのまま乗り込まないで下さい。
・事故及び故障の原因になります。

禁　止
天板下は何も置かない！乗場や降り場付近は整然とする！
・事故及び故障の原因になります。
・危険ですので天板下、乗り場や降り場に物を置かないで下さい。
・燃えやすい物を近くに置かないで下さい。

禁　止
車いすの本体・車輪・フットレスト（使用者の足先含む）が、天板よりはみ出す可能性がある場合や、特にリクライニング仕様の車いすは、絶対使用しない！
・事故の原因になります。

禁　止
車いすの車輪や使用者の足などが、自動収納スロープ（オプション）や乗越えブリッジ（オプション）に乗上げたまま本機を使用しない！
・天板の中央まで乗込んで下さい。事故及び故障の原因になります。

禁　止
昇降路や動作範囲内の天井・壁等に梁や突起物(照明、柱等)が無いこと！
・天井、壁等に突起物がある場合は使用しないで下さい。

禁　止
下階側で自動収納スロープ（オプション）の先端が乗込みスロープや地面に接触しない状態又は、上階側で乗越えブリッジ（オプション）が床面に平らに接触しない状態で乗降しない！
・事故及び故障の原因になります。

禁　止
操作スイッチのボタン操作は、頻繁に行わない！
・一時的にモータが過熱し、保護機能が働きボタンを押しても動かない状態になることがあります。
・不要又は頻繁な操作は避けて下さい。

禁　止
カバー内部に異物が入ったときは、使用禁止！
・キースイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
・直ちに販売店にご連絡下さい。

禁　止
カバーの中に手足や物を入れない！
・手足がはさまれたり、駆動部に巻き込まれたりする恐れがあります。
・不意の運転での事故及び故障につながります。

禁　止
地震・雷発生のときは使用禁止！
・停電や故障で途中で動かなくなる場合があります。

禁　止
本体に水をかけない！
・本機は屋外仕様となっていますが、水に浸からない様にして下さい。漏電事故や異常停止を招く恐れがあります。

感電注意
・装置の汚れが気になるときは、水洗いではなくＰ１２の日常のお手入れをご参照して下さい。

必ず守って下さい

⚠ 警 告

禁 止 / 感電注意

指定（交流１００Ｖ）以外の電源電圧で使用しない！
・ショートや発熱により、火災や感電につながります。

禁 止 / 感電注意

濡れた手で、電源プラグの抜き差しや操作等はしない！
・ショートや発熱により、火災や感電につながります。

禁 止 / 感電注意

電源プラグの抜き差しは、プラグ部以外は持たない！
コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない！
・感電の恐れがあり危険です。
・電源プラグやコードの修理は、販売店にご連絡下さい。

禁 止 / 感電注意

電源コードを破損させない！
・無理に曲げる、ねじる、引っ張る、傷をつける、束ねる、加熱する、加工する、重いものを載せる等はしないで下さい。
・ショートや発熱により、火災や感電につながります。

禁 止 / 感電注意

改造や部品の取り外しをしない！
・お客様自身での修理・改造することは絶対に行わないで下さい。
・火災、感電、怪我の原因になります。
・故障に気づいたときは、直ちに使用を禁止し、販売店にご連絡下さい。

禁 止 / 感電注意

スイッチボックス、ヒューズ、装置のカバーを開けない！
・感電の恐れがあり危険です。
・事故及び故障の原因になります。

強 制

運転を熟知した人が運転する！
・取扱説明書をよく理解し、正しい判断ができる方が操作を行って下さい。
・駆動部、手すり、オプション（自動収納スロープ、乗越えブリッジ）等ではさみ込みがないように十分にご確認下さい。

強 制

装置の操作をする場合、車いすのブレーキを必ずロックする！
・装置に乗込んだ場合は、車いすのブレーキを必ずロックして下さい。
・装置から降りる場合は、安全を十分確認してからロックを解除して下さい。

強 制

電動車いすを使用の場合は、装置に乗込み後、必ず車いすの電源を「切」にする！
・車いすの誤操作により、事故の原因につながります。

強 制

安定した姿勢で車いすに座り使用する！
・天板上で跳んだり、はねたり、必要以上に身体を揺すったり、頭や手足を天板からはみ出さないで下さい。事故及び故障の原因になります。

強 制 / 感電注意

異常に気づいたら運転を停止、電源プラグをコンセントから抜く！
・事故の原因になる恐れがあります。
・煙が出ている、異常に熱い、異臭がするときなどに運転を続けると火災や感電につながります。
・直ちに販売店にご連絡下さい。

強 制 / 感電注意

停電時降下装置（オプション）は、防雨構造になっていないため必ず、室内に設置する！
・停電時降下装置（オプション）組合せの場合、停電時は下降のみとなります。

日常の点検とお手入れ

ご使用になるとき、本機器がスムーズに運転されているか常に確認して下さい。異常がある場合には直ちに使用を禁止し、販売店までお問い合わせ下さい。

日常点検のポイント	1	運転中、異常音やガタつきはないか？
	2	キースイッチ、操作スイッチは正常に働いているか？
	3	上階及び下階の停止位置で正常に止まるか？
	4	故障または破損した所はないか？
	5	装置周辺、天板下に障害物は無いか？
	6	かご下挟まれ検出装置が正常に働いているか？
	7	乗越えブリッジ（オプション）は正常に働いているか？
	8	遮断棒（※）は正常に働いているか？

※ＤＡ‐６５Ad／１００Ad：オプション、ＤＡ‐１５０Ad／２４０Ad：標準

いつもきれいに手入れをして、気持ちよく使用できるよう心掛けて下さい。
月に１、２度は次の要領でお手入れをして下さい。

お手入れのポイント
１．お湯で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ固くしぼり、汚れを拭いて下さい。
２．最後に柔らかい布で水分を拭き取って下さい。
（注意）シンナー・ベンジンなど揮発性のものは絶対に使用しないで下さい。

修理を依頼される前に

本機が動かない場合には、修理を依頼される前に次のことをお確かめ下さい。

動かないときの点検箇所

●電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？ → プラグを差し込んで下さい。
●操作スイッチの差込は抜けていませんか？ → 差込を差し込んで下さい。
●スイッチボックスの電源ランプ（赤色）は点灯していますか？ → キースイッチを「入」にして下さい。
●天板下と床面の間に障害物が挟まれていませんか？ → 障害物を取り除いて下さい。
●乗越えブリッジ（オプション）は下がっていませんか？ → 乗越えブリッジ（オプション）を上げて下さい。
●遮断棒（※）は開いていませんか？ → 遮断棒（※）を閉じて下さい。

※ＤＡ‐６５Ad／１００Ad：オプション、ＤＡ‐１５０Ad／２４０Ad：標準

点検・修理の依頼

正常なご使用状態で１年以内に故障が生じた場合は、保証書記載の事項に基づき修理致します。
安心してご利用いただくために『保守点検契約』へのご加入をお願い致します。
点検・修理を依頼されるときは、キースイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いて販売店まで次の内容をご連絡下さい。

連絡事項	製品名・型式名	タスカルりふと　DA‐65Ad／100Ad／150Ad／240Ad
	製造番号	メインパネルのラベルに記載
	お買い上げ日	年　月　日
	故障の状況	できるだけ具体的に
	お客様のご住所とお名前お電話番号	

使い方

呼び送りの仕方 （オプション）

利用者や障害物がないことを確認し、呼び送りスイッチの「上」または「下」を押し続けて運転させます。

⚠ 移動方向に人や障害物のないことを確認してから運転して下さい。
人や障害物に気づいたら、直ちにスイッチから手を離して停止させて下さい。

⚠ 呼び送り運転中は、常に本体から目を離さず安全であることを確認しながら運転して下さい。

【操作スイッチ及び呼び送りスイッチを同時に操作した場合】

・操作スイッチと呼び送りスイッチを同方向に操作した場合、昇降動作を継続します。

・操作スイッチと呼び送りスイッチを逆方向に操作した場合、昇降動作を停止します。

使い方

電源について

①ご使用しない時は、キースイッチは「切」にして下さい。
②キーを入れたまま放置すると思わぬ誤動作や事故が起こる恐れがあります。キースイッチのキーを抜き取り、大切に保管して下さい。
③長期間ご使用しない時は、コンセントから電源プラグを抜いて下さい。電源プラグを抜くことが出来ない場合はブレーカーを切って下さい。
④停電時降下装置（オプション）は防雨構造になっていないため、必ず室内へ設置しご使用下さい。

必ず守って下さい

⚠ 警 告

使用しないときは、キースイッチを抜く！
強 制
・思わぬ誤動作や事故の原因になる恐れがあります。
・抜いたキーは大切に保管して下さい。

使用しないとき
強 制
●遮断棒（※）は閉じておく！
●乗越えブリッジ（オプション）は上げておく！
・事故及び故障の原因になります。

乗り降りの際、キースイッチは「切」にする！
強 制
・誤操作により事故が起こる恐れがあります。

電源は、延長コードの使用、タコ足配線はせず、単独でコンセントを使用する！
強 制
・発熱、発火、故障の原因となります。

火災が発生したときは、直ちに使用者を安全な場所へ誘導する！
強 制
・周囲の安全を十分に確認し、移動して下さい。
・移動の際、本機は使用しないで下さい。

呼び送りスイッチ（オプション）で運転させるときは、人や物がない事を確認してから行なう！
強 制

運転する前には、壁と天板の間に物が挟まっていない事を確認する！
強 制
・事故及び故障の原因になります。

遊具としての使用は絶対に行わない！
禁 止
・事故及び故障の原因になります。

本体を揺らしたり、押さえたり、強い衝撃を与えない！
禁 止
・事故及び故障の原因になります。

遮断棒（※）には寄りかかったり、ぶらさがったりしない！
遮断棒に物を掛けない！
禁 止
・事故及び故障の原因になります。

乗り場、降り場には利用者と介助者以外立ち入らない！
禁 止
・事故の原因になります。

上階での乗降の際は、転落に十分注意する！
注 意

安全な服装で使用する！
注 意
・本機に引っ掛かったり、駆動部に巻き込まれたりしないよう十分注意して下さい。

介助者の立会いの下で使用する！
注 意
・安全を十分確認し正しく使用して下さい。

※ＤＡ‐６５Ad／１００Ad：オプション
ＤＡ‐１５０Ad／２４０Ad：標準

必ず守って下さい

⚠ 注 意

禁 止

極端に端部に荷重を掛けない！
・偏荷重により安全装置（異常検出装置）が作動し、装置が動かなくなります。

強 制

雷発生のときは、電源プラグをコンセントから抜く！
・落雷により、電気部品がこわれる場合があります。

注 意

点検・修理は販売店に！
・ご購入時に保守点検契約を結んで下さい。
・故障・異常に気付いたら直ちに使用を禁止し、販売店までご連絡下さい。

強 制

外出等で長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く！
・ショートや発熱により、火災につながる恐れがあります。
・電源プラグを抜くことが出来ない場合はブレーカーを切って下さい。
・長期間使用しなかった場合、天板下にゴミや落ち葉等が溜まっていないか確認し、取り除いてからご使用下さい。

MEMO

警 告

●車いすの本体・車輪・フットレスト（使用者の足先含む）が、天板よりはみ出す可能性がある場合や、特にリクライニング仕様の車いすは絶対にご使用にならないで下さい。
●安定した姿勢で車いすに座りご使用して下さい。
●異常が発見された場合、直ちに使用を禁止し販売店にご連絡下さい。

Ⅱ．下がる時

①上階で乗る

キースイッチを「入」にします。

◎ご使用前の動作確認を行っていない場合には、Ⅰ．①を参照して行って下さい。

❗ **進行方向や開く方向に人、障害物や異常が無い事を確認してから操作して下さい。**

操作スイッチ「上」を押して、かごを上階停止位置で止めます。
完全に止まったら、押しボタンを離してください。
乗越えブリッジ（オプション）、遮断棒（※）付仕様の場合は、開けて下さい。
（介助者がいる場合、誤操作防止のため必ずキースイッチを「切」にして下さい。）
装置に乗込みます。

❗ 車いすを中央に止めブレーキを必ずロックして下さい。
❗ 電動車いすの場合は、電源を「切」にして下さい。
❗ 車いす全体が天板から出ていない事を確認して下さい。

⃠ 車いすの車輪や利用者の足などが、自動収納スロープ（オプション）及び乗越えブリッジ（オプション）に乗上げたまま装置を使用しないで下さい。

②かごを下げる

（介助者がいる場合、車椅子のロック確認後、キースイッチを「入」にします。）
乗越えブリッジ（オプション）、遮断棒（※）付仕様の場合は、ロック確認後に閉めて下さい。

❗ **乗越えブリッジ（オプション）が、閉じている事を確認して下さい。**
❗ **車いすの車輪や利用者の足などが、自動収納スロープ（オプション）及び乗越えブリッジ（オプション）に接触していない事を確認して下さい。**

操作スイッチ「下」を押して、かごを下降させます。
操作スイッチは、かごが完全に止まるまで離さないで下さい。

❗ 進行方向に人、障害物や異常を発見した時は、直ちにスイッチから手を離し停止して下さい。
❗ 操作スイッチから手を離しても停止しない場合はキースイッチを「切」にして下さい。
故障が予想されますので、直ちに販売店へご連絡下さい。

⃠ ボタン操作は、頻繁に行わないで下さい。一時的にモータが過熱し、保護機能が働き動かなくなることがあります。

③下階で降りる

❗ **開く方向に人、障害物や異常が無い事を確認して下さい。**

かごを下階停止位置で止めます。
完全に止まったら、押しボタンを離してください。
自動収納スロープ（オプション）付仕様の場合は、下階停止位置の時に開きます。
遮断棒（※）付仕様の場合は、開けて下さい。
（介助者がいる場合、誤操作防止のため必ずキースイッチを「切」にして下さい。）

❗ **自動収納スロープ（オプション）と床又は乗込みスロープが、平らに接している事を、確認して下さい。**
❗ **安全を十分確認して下さい。**
電動車いすの場合は、電源を「入」にして下さい。
車いすのブレーキを解除して降りて下さい。

装置から降ります。
遮断棒（※）付仕様の場合は、閉めて下さい。

❗ 思わぬ誤動作や事故防止のため、使用後はキーを抜き取り、大切に保管して下さい。

❗ お手入れや、長期間ご使用にならない時は、誤操作防止のため電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
電源プラグを抜くことが出来ない場合はブレーカーを切って下さい。

※ＤＡ‐６５Ad／１００Ad：オプション
ＤＡ‐１５０Ad／２４０Ad：標準

使い方　# 操作の仕方

警告
- ●2～5ページの警告・注意事項をよく読み、十分ご理解した上でご使用下さい。
- ●本機を使用する場合、定員１名、車いす専用、最大積載量を厳守して下さい。
- ●本機の運転は、取扱説明書をよく理解し、正しい判断が出来る方が操作して下さい。
- ●濡れた手で操作しないで下さい。感電する恐れがあります。

Ⅰ．上がる時

①下階で乗る

キースイッチを「入」にします。

❗ ご使用される前に、装置の動作確認を行って下さい。

ａ.かごの上昇（下降）

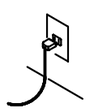
❗ 進行方向や開く方向に人、障害物や異常が無い事を確認してから操作して下さい。

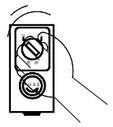
操作スイッチ「下」を押して、かごを下階停止位置で止めます。
完全に止まったら、押しボタンを離して下さい。
自動収納スロープ（オプション）付仕様の場合は、下階停止位置の時に開きます。
遮断棒（※）付仕様の場合は、開けて下さい。
（介助者がいる場合、誤操作防止のため必ずキースイッチを「切」にして下さい。）
装置に乗込みます。

❗ 車いすを中央に止めブレーキを必ずロックして下さい。
❗ 電動車いすの場合は、電源を「切」にして下さい。
❗ 車いす全体が天板から出ていない事を確認して下さい。

⃠ ＡＣ１００Ｖ電源をご使用して下さい。
誤った電圧でご使用しますと火災、感電の原因となります。

スイッチボックス





②かごを上げる

（介助者がいる場合、車椅子のロック確認後、キースイッチを「入」にします。）
遮断棒（※）付仕様の場合は、ロック確認後に閉めて下さい。

❗ 乗越えブリッジ（オプション）が、閉じている事を確認して下さい。
❗ 車いすの車輪や利用者の足などが、自動収納スロープ（オプション）及び乗越えブリッジ（オプション）に接触していない事を確認して下さい。

操作スイッチ「上」を押して、かごを上昇させます。
操作スイッチは、かごが完全に止まるまで離さないで下さい。
自動収納スロープ（オプション）付仕様の場合は、自動で閉じます。

❗ 進行方向に人、障害物や異常を発見した時は、直ちにスイッチから手を離し停止して下さい。
❗ 操作スイッチから手を離しても停止しない場合はキースイッチを「切」にして下さい。
故障が予想されますので、直ちに販売店へご連絡下さい。

⃠ 下階側で自動収納スロープ（オプション）の先端が乗込みスロープや地面に接触しない状態で乗降しないで下さい。

③上階で降りる

❗ 開く方向に人、障害物や異常が無い事を確認して下さい。

かごを上階停止位置で止めます。
完全に止まったら、押しボタンを離してください。
乗越えブリッジ（オプション）、遮断棒（※）付仕様の場合は、開けて下さい。
（介助者がいる場合、誤操作防止のため必ずキースイッチを「切」にして下さい。）

❗ 乗越えブリッジ（オプション）と床が平らに接している事を、確認して下さい。
❗ 安全を十分確認して下さい。
電動車いすの場合は、電源を「入」にして下さい。
車いすのブレーキを解除して降りて下さい。

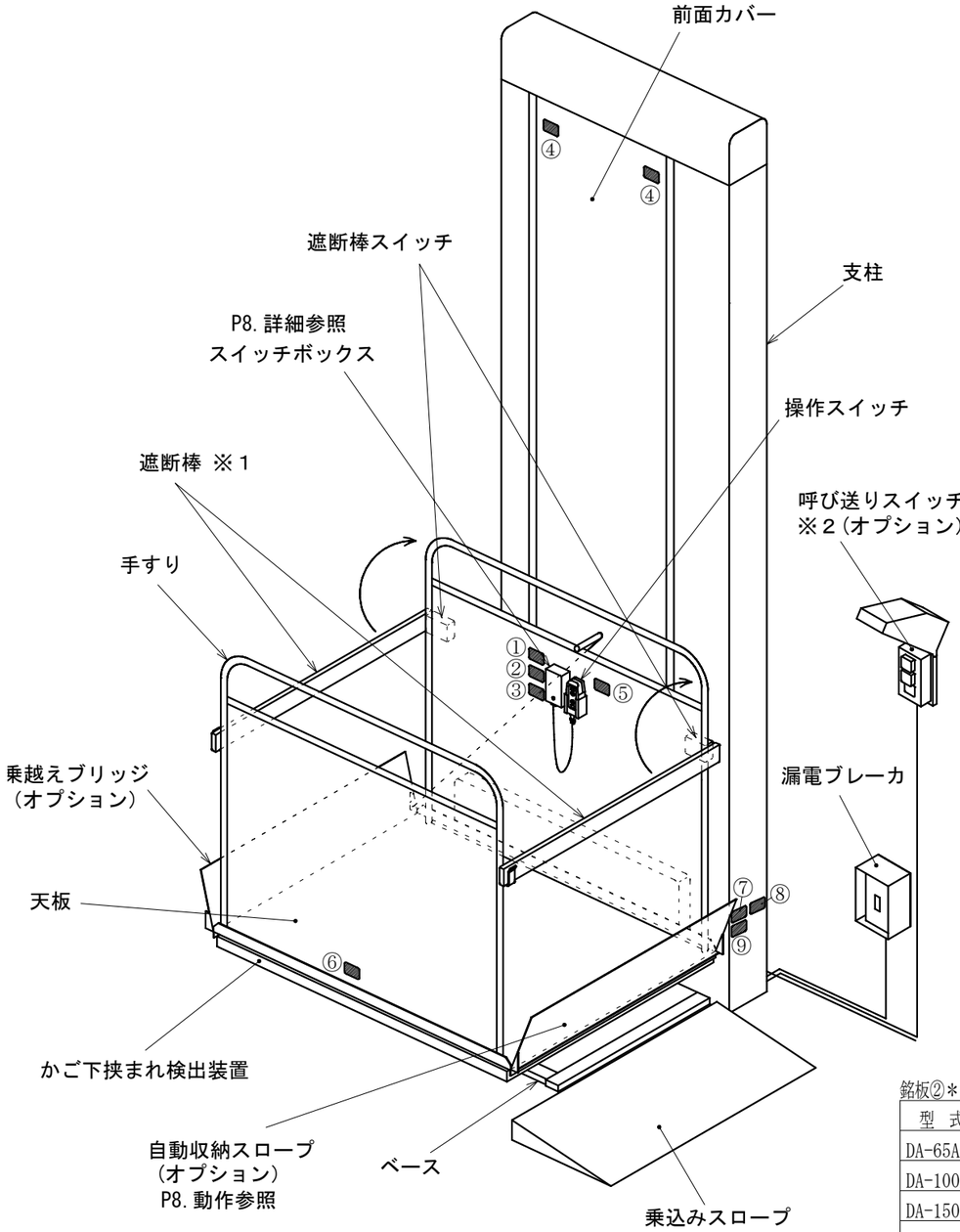
装置から降ります。
乗越えブリッジ（オプション）、遮断棒（※）付仕様の場合は、閉めて下さい。

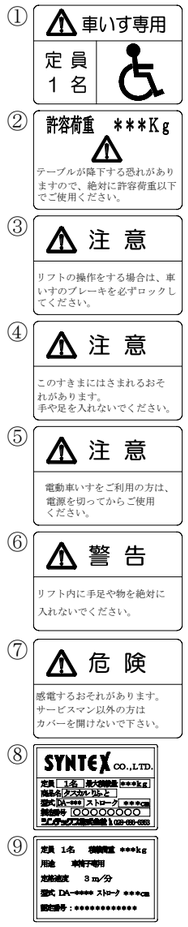
⃠ 上階側で乗越えブリッジ（オプション）が床面に平らに接触しない状態で乗降しないで下さい。

※ＤＡ‐６５Ad／１００Ad：オプション
ＤＡ‐１５０Ad／２４０Ad：標準

MEMO

各部のなまえとはたらき





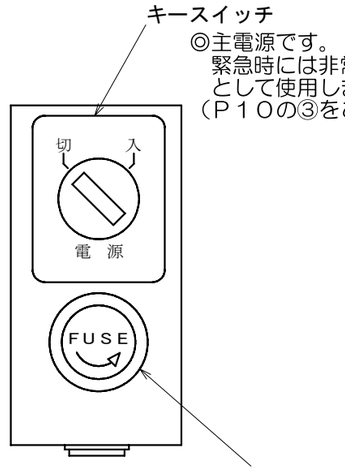
銘板②＊部　参照図

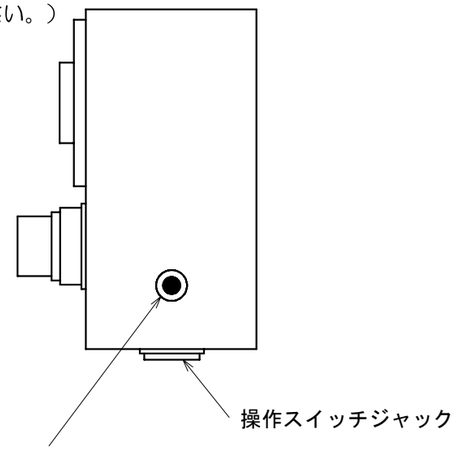
型　式	許容荷重
DA-65Ad	200 kg
DA-100Ad	200 kg
DA-150Ad	185 kg
DA-240Ad	185 kg

その他は実機銘板にて確認して下さい。

※１　ＤＡ‐６５Ad／１００Ad：オプション、ＤＡ‐１５０Ad／２４０Ad：標準
※２　使用階に本体がない時に本体を呼び送りするためのスイッチ（押し続け式ボタン）です。

スイッチボックス詳細





◎キースイッチを「入」にすると点灯します。

（オプション）

自動収納スロープの動作

※下階にて車いすを前から装置に乗込み、天板を上昇させた時の状態です。

○正常な状態
車いすの車輪が天板上にあり、上昇すると自動収納スロープが立ち上がります。

×危険な状態（Ｐ２．警告）
車いすの車輪が自動収納スロープに乗上げている為、自動収納スロープが立ち上がらず事故の原因になります。

※危険な状態では、車いすの落下の恐れがありますので乗込み後の停止位置には十分注意して下さい。
また装置操作中は、自動収納スロープが正常に動作していることを確認し安全にご使用して下さい。

※車いすの形状により転倒防止の車輪等が付いている場合は、車いすの車輪が天板に完全に乗っているか、自動収納スロープに接触していないかを確認して下さい。